

## 『英語の「なぜ？」に答える はじめての英語史』正誤表

※以下は、初版（2016年12月1日発行）の正誤表です。

※この誤植は、第2版（2017年1月20日発行）では修正されています。

・ p. 21 第2段落 3行目

(誤) 人や物の個数の平均値が**小数点**で出されるとき、

(正) 人や物の個数の平均値が**小数**で出されるとき、

・ p. 37 第3段落 2行目

(誤) 近年のアメリカ英語では [ə**k**ɒmplɪʃ] と発音されるようになってきている。

(正) 近年のアメリカ英語では [ə**k**ɑːmplɪʃ] と発音されるようになってきている。

・ p. 37 第3段落 5行目

(誤) Tom や pond などの [ɒ] の発音からの類推で

(正) Tom や pond などの [ɑː] の発音からの類推で

・ p. 179 第8段落 2行目

(誤) 内容がある程度ならされいるという点がある

(正) 内容がある程度なら**されて**いるという点がある

・ p. 158 (4) の2行目

「are」 → 「were」、 「are」 → 「be 動詞」

(誤) We were eating — and drinking too. のように2つ目の節では we **are** をまるごと省略するのが普通だが、AAVE では多くのクレオール語と同様に **are** だけを省略し、

(正) We were eating — and drinking too. のように2つ目の節では we **were** をまるごと省略するのが普通だが、AAVE では多くのクレオール語と同様に **be 動詞**だけを省略し、

・ p. 187

(誤) Carstairs-McCarthy, Andrew. *An Introduction to English Morphology: Words and Their Structure*. Edinburgh: Edinburgh UP, 2002. **134**.

(正) Carstairs-McCarthy, Andrew. *An Introduction to English Morphology: Words and Their Structure*. Edinburgh: Edinburgh UP, 2002.